別紙3　被害防止計画目標評価報告書

被害防止計画の達成状況（令和4年度）

事業実施主体名（協議会名）	構成市町村名	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果
松島町農作物有害鳥獣対策協議会	松島町	松島町	R1	イノシシ	有害捕獲	イノシシ捕獲　1頭				・捕獲わなの拡充により、イノシシを1頭捕獲した。 ・農畜産物及び人身被害等が確認されている地域で、鳥獣被害対策実施隊による有害捕獲活動を実施し、カラス18羽・カルガモ32羽を捕獲した。 ・被害状況調査へ出動し、より確かな被害の把握に資することができた。
				タヌキ	有害捕獲	タヌキ捕獲　1頭				
				ハクビシン	有害捕獲	ハクビシン捕獲　10頭				
			R2	タヌキ	有害捕獲	タヌキ捕獲　2頭				
				ハクビシン	有害捕獲	ハクビシン捕獲　8頭				
			R3	ハクビシン	有害捕獲	ハクビシン捕獲　10頭				
				イノシシ	有害捕獲	大型捕獲檻購入　2基	松島町農作物有害鳥獣対策協議会	R4.2	100%	
			R4	イノシシ	有害捕獲	イノシシ捕獲　1頭				
				カラス	有害捕獲	カラス駆除　18羽				
				カルガモ	有害捕獲	カルガモ駆除　32羽				
				タヌキ	有害捕獲	タヌキ捕獲　1頭				
				ハクビシン	有害捕獲	ハクビシン捕獲　3頭				

被害防止計画の目標と実績

作成年度	基準年度	目標年度	対象鳥獣	被害金額（万円）基準値	被害金額（万円）目標値	被害金額（万円）実績値	被害金額（万円）達成率	被害面積（ha）基準値	被害面積（ha）目標値	被害面積（ha）実績値	被害面積（ha）達成率
H31	H30	H33		H30	R3	R4		H30	R3	R4	
			カラス類	2.3	2	3.2	−300	0.63	0.56	0.03	857.143
			カルガモ	2.9	2.6	2.1	266.667	0.83	0.74	0.02	900
			ハクビシン	0	0	213.6		0	0	0.35	
			タヌキ	0.1	0	169.5	−169400	0.01	0	0.3	−2900
			イノシシ	0	0	89.8		0	0	0.77	
			合計	5.3	4.6	478.2	−67557	1.47	1.3	1.47	0

事業実施主体の評価	第三者の意見
鳥類 被害を改善するため、鳥獣被害対策実施隊に対し銃火器を使用した駆除を計画・実施し、農作物における被害面積については減少させることができたが、被害金額については増加した。今後も捕獲活動を継続し、コロニー等を把握し被害金額の減少に努める。 ハクビシン・タヌキ 農作物被害（主に大根・人参・トマト）が大幅に増加した。被害が増加した要因としては、空き家や屋根裏等に住み着き、野菜等の残渣に寄りついていることで個体数が増加したことがあげられる。 改善策として、小型箱わなによる捕獲を実施を計画し、捕獲も実施しているが、生息数増加等の要因で、小型箱罠だけでは対応しきれない被害額及び被害面積となっている。今後は農家への残渣の処理や電気策等の新たな取り組みを講ずる必要性がある。 イノシシ 農作物被害が大幅に増加している。町内全域の山林で活動していることにより水稲への被害が増大した。 改善策として、箱わなの設置や、連絡体制の構築化を図り、実際に箱罠を5箇所に設置し、R4年度は1匹捕獲することができた。しかし、被害が町内全域となってきていることから、生息数も大幅に増加していると考えられる。電気策等の対応が必要となってくることに加え、地域ぐるみによる緩衝帯の整備が必要であるとの周知を図り、捕獲と環境整備を効果的に組み合わせた被害防除対策の推進に取り組む。	鳥類全体で見れば、被害が減少していることから、引き続き対策を実施し、更なる被害額軽減に努め欲しい。 ハクビシン・タヌキにおいては空き家や屋根裏等に住み着き、個体数の増加や住家への被害も懸念されることから、協議会での対策はもちろんのこと、町全体として対策を講ずる必要性がある。 イノシシについては被害額が増大しているため、地域ぐるみでの対策が必要である。 また、駆除を実施する隊員の高齢化のため担い手育成にも尽力いただきたい。